

九州大学病院

研修医 李 容承 2013年11月

九州大学病院初期臨床研修医2年目の李容承(イ ヨンスン)と申します。

平成25年11月の1ヶ月間、出水総合医療センターを中心とした地域医療の研修をさせていただきました。どのような研修を受けたか、その中で何を感じて何を思ったかについて報告いたします。

こちらに来る前には、大学の親友が出水出身であることもあり、大河ドラマ「篤姫」を興味深く観たり、初期臨床研修九州地区説明会で出水総合医療センターのブースに寄り説明を受けたり、九州新幹線全線開通のCMで出水の風景を見つけたりしていました。しかし、鶴のことを知ったのはつい最近でした。

最初の2週間は、野田診療所をメインとして、医療安全(11/5;院内)、大川内診療所(11/6)、上場診療所(11/12)、出水保健センター(11/13)、救急外来(11/9、16;院内)で研修を受けました。

野田診療所では、内村先生の横に座って患者さんの血圧を測定したり、聴診や触診をしたり、新患の初期対応をしたり、採血・処置・エコー・内視鏡などをしていました。タバコやお酒が健康に悪影響を及ぼしていることを目の当たりにし、生活習慣の重要性を再認識しました。在宅訪問や夜間救急も経験させていただきました。

院内での医療安全では、患者確認の重要性に気づきました。大川内診療所は、昔は人が多くて活気に満ちていたことが窺えましたが、今は人が少なくなって寂しかったです。

下園先生にはトリガーポイント注射を教えてくださいました。

上場診療所では高齢者の精巣腫瘍に遭遇し、泌尿器科に紹介して診察を見学しました。

出水保健センターでは母子・成人の健康相談、3歳児検診を見学しました。3歳児検診の際、永松先生の子供への接し方は勉強になりました。また、保健師さんの仕事振りも素晴らしかったです。

院内の救急外来では急患の初期対応をさせていただきましたが、外傷の患者さんが来るとほっとしている自分に気づきました。整形外科志望ですが、内科が苦手にならないように、勉強していきたいと思いました。後半の2週は、整形外科をメインに、高尾野診療所・鶴寿会たかおの(11/18、25)、地域連携(11/21;院内)、臨床検査(11/21;院内)、上場診療所(11/26)、大川内診療所(11/27)、リハビリ(11/28;院内)で研修を受けました。

整形外科では中沢先生、鎌田先生に指導していただきました。外来は主に見学でしたが、簡単な処置や注射はさせていただきました。病棟では転倒による高齢者の大腿骨頸部骨折が多いことがわかりました。手術にも入らせていただき、髓内釘固定(大腿骨、脛骨)、腱鞘切開(右中指)、抜釘術(右尺骨)を経験しました。ご多忙中、指導していただき感謝しています。

高尾野診療所では西元寺先生のご指導の下、患者さんの診察をさせていただきました。鶴寿会たかおのでは長谷川先生に付いて診察、包帯交換、予防接種を行いました。学生時代に老人保健施設でバイトをしたことがあり、認知症の方の介護の大変さは知っているつもりでしたが、こちらでも人員不足を痛感しました。

地域医療連携室では地域連携業務について説明を受け、臨床検査室では血液検査・顕微鏡、生化学検査、細菌培養、伝導速度検査を見学しました。リハビリでは整形外科の術後リハビリを経験することができて嬉しかったです。

研修は夜も続きました。開業医の先生方(永松先生、黒木先生、広瀬先生、朝倉先生、福元先生)

や院内の先生方(花田先生、和田先生)より、地域医療や医師としての心構えについて熱いご指導をいただきました。場所は公会堂の周辺で、歌の研修もあり、明日もがんばろうという気持ちになりました。

市民駅伝大会に出場することとなり、医局の瀬戸口さんの協力を得て練習を重ね、当日は花田先生のチームで5区走者として出場しました。きつい時、応援の声と笑顔は力になりました。櫓を渡してほっとしたことや、走った後にみんなで食べたことは楽しい思い出でした。福岡に戻っても走りたいと思いました。

生活面においては、完璧に準備された病院宿舎やレンタカーの使用を許可され、何の不自由もなく過ごせました。宗清先生、餅原係長、米澤さんに感謝しています。プライベートでは鶴を見に行ったり、出水麓武家屋敷群を見てまわったりしました。大産業祭では、美味しい焼き鳥をいただき、可愛い子豚たちのレースも楽しめました。鶴寿園のイルミネーションはとても綺麗でした。

1ヶ月という短い時間でしたが、出水の皆様のお蔭でとても充実した研修を受けることができました。心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。出水での経験は、今後も私の中で生き続けると思います。